

---

# 霧の中にて

くまっ！

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

霧の中にて

### 【著者名】

ZZマーク

27685H

### 【あらすじ】

僕は霧の中で男と出会つ。男はとある人物を探していると言つが  
・・・。

まいつたな・・

家路に付いた矢先、突然の霧。

田舎の一本道なので道に迷うことなどないが、視界が悪くなると流石に怖い・・。

「よおー。」

近くから声がした。

今まで気付かなかつたが、直ぐ先に人影が見える。

「かあー、この霧にはまいつたねえ。  
兄さん、霧が晴れるまで俺と一休みしていかないかい？」

確かにひどい霧だ、男の誘いに乗つてみるのも悪くなからつ。  
良いですよ

「そいつは良かつた！』

男の声は明るくなる。それから男と2、3言葉を交わした。

他愛の無い会話・・。

年は幾つだの、住んでいるだの・・。

ただ、年上だと思っていた男が同じ年だったのはビックリした。

「実は俺、人を探してるだ・・。」

不意をつかれた！

いきなり何を言い出すんだ？

対応に困っている僕に向かい、男は続ける。

「そいつはな、俺と一心同体よ！

ただなあ・・、

なんつーか・・『ミユニケーションが上手く取れなくてなあ

はあ・・大変ですね

気の無い返事・・。そりやそうだ、何て言つていいか困る。

「そつ、大変なんだ！

奴はな、俺の存在なんてこれっぽっちも気にしねえんだつー・

ちょっと興奮してきたかな？

「しかもよお・・いつも何時も表舞台に立つのは奴なんだ。  
俺は所詮日陰者なんだよ・・。」

なんかトーンが低くなつた・・少しは励ました方がいいかな・・。

まあ、そんなに落ち込まないでくださいよ・・。  
いつかきっと貴方も陽の日を見る日もありますよ

「そんなことあるかなあ・・。」

折角励ましたのに益々声が弱くなる・・・。  
しうがないな。

僕がその

「奴」の立場なら貴方と立場を入れ替えますね。  
僕はね、裏方が好きなんです

「本当かい？」

男は意外そうな声で聞き返してきた。多少は元気になつてくれたかな？

もちろんですとも！

「いやあ、嬉しいねえ」

男は嬉しそうな声をあげる。  
よしよし、良いことをしたなあ。

「それじゃ、お言葉に甘えて・・・」

男が近づいてくる。

何かよくわかりませんが、元気になつてくれて良かつた。

「ああ、ありがとよ！」

男が直ぐ田の前にいる。

が、影のままだ。

顔もなくただ人の形をした影・・・。

風が吹いた。周りの霧を吹き払つかのような、強い風・・・。  
何処からともなく声が聞こえる。

「しつかり裏方してくれや」

あの男の声だ。

霧は晴れたハズなのに寒い。

目の前に広がるのは何時もの景色だが変だ・・・。

同じ風景なのに色が無い。

モノトーンの世界。

ここは一体何処なんだ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7685h/>

---

霧の中にて

2010年10月20日15時33分発行